



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL http://www.kayac.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,251	△2.3	△296	—	△243	—	△221	—
29年12月期第3四半期	4,350	11.4	586	84.9	637	82.7	413	123.6

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 △207百万円(—%) 29年12月期第3四半期 555百万円(152.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	△14.68	—
29年12月期第3四半期	27.45	26.79

(注) 平成30年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,626	2,646	45.3
29年12月期	5,148	2,891	54.5

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 2,549百万円 29年12月期 2,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 詳細につきましては、平成30年10月19日付で公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	△3.1	△200～ △400	—	△150～ △350	—	0～ △300	—	0.00～ △19.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 詳細につきましては、平成30年10月19日付で公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	15,105,800株	29年12月期	15,060,200株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	164株	29年12月期	135株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	15,080,302株	29年12月期3Q	15,054,490株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府及び日銀による経済政策・金融緩和政策等を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、平成29年のスマートフォン保有率は75.1%と過半数を超えるまで拡大しており、インターネット環境は発展を続けております(出所：総務省「平成30年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成29年の市場規模は前年比15.2%増の1兆5,094億円と順調に拡大しております(出所：電通「2017年 日本の広告」)。また、スマートフォンゲームの市場規模(予測)は、平成28年度は9,450億円、平成29年度には9,600億円と、安定的な成長が見込まれております(出所：矢野経済研究所)。

このような事業環境の中で、当社グループは良質なコンテンツをより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,251,125千円(前年同四半期2.3%減)、営業損失は296,535千円(前年同四半期は営業利益586,817千円)、経常損失は243,414千円(前年同四半期は経常利益637,852千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は221,334千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益413,206千円)となりました。

当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられております。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、VRを利用した案件等の新しい取り組みを積極的に行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、1,278,203千円(前年同期比4.4%増)となりました。

② ソーシャルゲーム

「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開しており、「ぼくらの甲子園！」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園！ポケット」が堅調に推移しております。その中で、組織を拡充するとともに新規開発ラインに積極的に投資を行うことで、事業規模の拡大を図っております。また、2017年12月に「モダンコンバット Versus」の配信を開始し、パブリッシングにも新たに挑戦しました。しかしながら、新規タイトルの立ち上がりが遅れており、この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、1,745,490千円(前年同期比21.4%減)となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。コミュニティがもつめる機能の拡充に努めるとともに、「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させる中でユーザー数の拡大を図っております。その中で、「Lobi」の強みであるユーザーやコミュニティにより焦点を当てた収益構造への転換を図っております。また、2017年7月にゲーム大会の開催を簡単にするトーナメント機能「Lobi Tournament」をリリースしました。この結果、Lobi関連の売上高は、330,925千円(前年同期比6.4%減)となりました。

④ その他サービス

「プラコレWedding」等の新規サービスは順調に成長を続けております。また、2017年6月にe-sports事業を営むウェルブレイドを子会社化し、グループ全体としてゲーム周辺領域のさらなる拡充を図っております。この結果、その他サービス関連の売上高は、896,505千円(前年同期比62.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ478,421千円増加し、5,626,998千円となりました。主な要因は、鎌倉開発拠点施設関連の取得等に伴う有形固定資産の増加506,944千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ723,373千円増加し、2,980,867千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加777,026千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ244,951千円減少し、2,646,131千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失計上等に伴う利益剰余金の減少280,068千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月14日付の「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、平成30年10月19日付で公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,691,688	1,450,172
受取手形及び売掛金	1,052,780	970,505
仕掛品	58,110	142,017
その他	289,905	525,800
貸倒引当金	△37,090	△37,092
流動資産合計	3,055,394	3,051,403
固定資産		
有形固定資産		
土地	690,478	690,478
建設仮勘定	149,225	568,198
その他(純額)	220,589	308,561
有形固定資産合計	1,060,294	1,567,238
無形固定資産		
のれん	263,444	250,869
その他	135,478	138,525
無形固定資産合計	398,922	389,394
投資その他の資産		
投資有価証券	466,687	590,328
その他	169,555	30,910
貸倒引当金	△2,276	△2,276
投資その他の資産合計	633,965	618,962
固定資産合計	2,093,182	2,575,595
資産合計	5,148,576	5,626,998
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,469	199,196
1年内返済予定の長期借入金	155,640	378,828
未払金	164,951	241,569
未払費用	184,370	199,864
未払法人税等	81,693	7,895
その他	157,064	162,962
流動負債合計	1,021,190	1,190,315
固定負債		
長期借入金	1,136,468	1,690,306
その他	99,834	100,245
固定負債合計	1,236,302	1,790,551
負債合計	2,257,493	2,980,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,410	506,327
資本剰余金	439,291	450,021
利益剰余金	1,573,469	1,293,400
自己株式	△174	△208
株主資本合計	2,507,996	2,249,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297,512	299,955
為替換算調整勘定	△72	—
その他の包括利益累計額合計	297,440	299,955
新株予約権	38,432	46,807
非支配株主持分	47,213	49,826
純資産合計	2,891,083	2,646,131
負債純資産合計	5,148,576	5,626,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,350,766	4,251,125
売上原価	2,581,468	3,173,776
売上総利益	1,769,297	1,077,348
販売費及び一般管理費	1,182,480	1,373,884
営業利益又は営業損失(△)	586,817	△296,535
営業外収益		
受取利息	163	119
受取配当金	2,030	2,153
補助金収入	11,999	—
助成金収入	42,300	52,072
その他	1,037	2,992
営業外収益合計	57,531	57,338
営業外費用		
支払利息	2,100	1,876
為替差損	3,747	—
その他	648	2,340
営業外費用合計	6,496	4,216
経常利益又は経常損失(△)	637,852	△243,414
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	13,306
特別損失合計	—	13,306
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	637,852	△256,721
法人税、住民税及び事業税	201,746	9,024
法人税等調整額	15,652	△55,336
法人税等合計	217,398	△46,311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	420,454	△210,409
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,247	10,925
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	413,206	△221,334

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	420,454	△210,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,951	2,442
為替換算調整勘定	△496	72
その他の包括利益合計	135,454	2,515
四半期包括利益	555,909	△207,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548,661	△218,819
非支配株主に係る四半期包括利益	7,247	10,925

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、サンネット㈱の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めておりません。

当第3四半期連結会計期間より、株式会社QWANを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、KAYAC HANOI CO., LTDの全持分を売却したため、連結の範囲より除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。